

【平成27年度 宮崎県立宮崎南高等学校 学校関係者評価書】

評価項目	具体的な方策 (P)	結果と課題 (D)	自己評価(c)		改善策 (A)	学校関係者評価					
			項目別	総合		評価					
						項目別	総合				
1 学力向上 *教務部 *進路指導部 *教育相談部 *情報教育部	①教師の授業力の向上 ｱ)年2回の公開授業を実施するとともに、授業研修を充実させ、「わかる授業」の追求を図る。 ｲ)新たな大学入試を見据えた教育課程の編成を検討し、適切に授業や課題等に反映させる。	(結果) ・校内実力テストの作問・検討を通じた指導力向上研修及び保健体育科、芸術科、家庭科におけるアクティブラーニングを取り入れた授業研究を実施できた。また、各教科で事後に協議を行い実施報告書を作成した。 ・各学年で学力検討会を行い、各教科による分析と今後の指導方針を協議し、改善策を打ち出した。 (課題) ・フロンティア科改革を反映した教育課程の検討を普通科へも広げ、大学入試にも対応できる校内の体制を固め、指導の改善が図られるよう工夫する。	3		①校内実力テストの作問・検討を通じた指導力向上研修については、各教科で個別に実施し、授業研究の充実を図っていきたい。 ②今後変化していく大学入試にも対応できるように、フロンティア科改革を反映した教育課程の検討を普通科へも広げていく。	3		・それぞれの項目において改善策が確実に実行され、次年度さらに学校運営が充実することを期待しています。 ・フロンティア科の特徴をわかりやすく提示できるようにしてほしい。 ・キャリア教育に関してはもっと保護者を巻き込む必要があると思います。 ・指導力向上研修や各学年での学力検討会の充実を期待しています。 ・学校の方向性と取組は素晴らしい。 ・生徒の主体的活積極的な参画による学習指導及び進路指導の展開を期待しています。 ・年齢や経験にかかわらず教師間の指導力の差があるような気がいたします。予習したり理解力のある生徒もいれば、その反対もいるのでどのレベルに合わせて授業を行うか難しい点もありますが、学ぶ意欲の低い生徒たちの底上げを図って下さる専門の先生がいてくださると学校に活気が生まれると思います。 ・大変難しい課題ではありますが、目標が見つからない生徒に1学年が終わる頃までに将来の職業が見つかるように、2,3年の過ごし方が変わってくると思います。引き続き鵬ドリカム講座のような活動を充実していただきますようお願いいたします。			
	②生徒の学ぶ意欲の高揚 ｱ)マイハイスクールライフの記録や面談週間、家庭学習調査等を利用して、生徒の学習状況を把握し、自宅時間の確保と課題の工夫を図る。	(結果) ・家庭学習調査を実施し、生徒の学習状況を把握することができた。 (課題) ・家庭学習調査の結果提示の時期が遅く、次の指導に活かす時機を逸している感がある。			3					①学習実態調査を定期的に行い家庭学習状況を把握し、学習量の増加に取り組む。 ②家庭学習調査の結果提示の時期を早め、調査結果を指導に活かしていく。	3
	③キャリア教育の推進 ｱ)学校全体計画に基づき、具体的かつ積極的な推進を図る。 ｲ)夢ナビ講座やオープンキャンパス等への参加を推進する。 ｳ)全教育活動を通じた指導体制を確立する。	(結果) ・進路意識を高めるため各自が主体的に夢ナビ講座や各種体験、大学説明会等に積極的に参加できた。 (課題) ・日常の教育活動において、キャリア教育の観点からポイント絞った指導を共通理解する必要がある。								3	
2 進路目標の達成 *進路指導部 *渉外部 *情報教育部 *図書部	①進路意識の醸成 ｱ)「育鵬」「合格体験記」等を用いて、進路指導の充実を図る。 ｲ)「LHR」「図南タイム」「総合科学」の計画的な実施により、進路指導の充実を図る。	(結果) ・「LHR」「総合的な学習の時間」を進路指導において系統的に活用するとともに「進路サポート」の利用が促進できた。 (課題) ・進路講演会が諸般の事情により実施見送ることになった。普通科へも出前講座を定期的な実施できるよう工夫する必要がある。	3			①進路指導については、常に点検・見直しを図り、さらなる充実に努める。 ②進路講演会や出前講座について、開催時期や学年、学科で最適な内容になるよう検討する。	3				
	②進路指導体制の確立 ｱ)生徒の実態を把握し、朝補習や土曜講座を計画的に実施し、放課後セミナーの充実を図る。 ｲ)各学年のミッションを明確にした進路指導計画に基づき、的確な実施を図る。	(結果) ・各学年やフロンティア科3年において学習会を実施したり、2年ではハイレベル講座を実施したりして、学習に対する意識の高揚を図ることができた。 (課題) ・放課後セミナーや自学自習の在り方、試験前の			4	4		①学習会の開催時期や内容についてさらなる改善に努める。 ②自学自習の方法や在り方について、あらゆる機会を捉えて、徹底指導を行い、	4		

	<p>③キャリア教育の充実</p> <p>ア) 鵬ドリカム講座の更なる充実を図り、インターンシップ等については、鵬同窓会とも連携を図り、実施する。</p> <p>イ) 高大連携の継続について、検討を進めるとともに、その在り方について改善を図る。</p>	<p>家庭学習への取組方など主体的な取組について具体的に指導する必要がある。</p> <p>(結果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏季休業中にインターンシップ期間を設け、1、2年生が本校同窓会とタイアップしたインターンシップに参加し、進路選択の一助となった。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高大連携については、本校を核に県内高校も巻き込んだ連携の在り方について詰めていく必要がある。 	4	<p>家庭学習の充実を図る。</p> <p>①インターンシップについて、同窓会の支援のもと、さらなる拡充を推進する。</p> <p>②高大連携については、各大学との協議を進め、着実に実践していく。</p>	4	<p>ます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上は普通科進学校の命題であります。教師個人の力量の陶冶はもちろんのこと、組織的集団の技量も大きな要素です。その点本校は各教科内での意思統一などよい雰囲気指導がなされていると感じました。言われてからするのではなく、生徒自らが自己教育を發揮して取り組む工夫をさらに進めると、所期の目的は達成されると思います。魅力ある教育課程の準備でよい生徒の集まる学校を目指して頑張らしましょう。同窓会としても後輩の力の充実は課題の一つです。支援を惜しみませんので申しつけください。
--	--	--	---	--	---	--

(注) 4段階評価・・・ 4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する

評価項目	具体的な方策 (P)	結果と課題 (D)	自己評価(c)		改善策 (A)	学校関係者評価	
			項目別	総合		評価	
						項目別	総合
<p>3 豊かな人間性の醸成</p> <p>*生徒指導部 *図書部 *環境保健部 *教育相談部</p>	<p>①ハイレベルな文武両道の推進</p> <p>ア) 部活動と学習との両立について職員の共通理解を図る。</p> <p>イ) 文武両道の精神を基に、質の高い部活動に取り組みさせる。</p> <p>②自己肯定感の育成</p> <p>ア) FORMを通して言葉遣いや行動様式を身に付けさせる。</p> <p>イ) 学校行事等の企画・運営が、より生徒の主体的な活動を生かした取組になるよう改善を図る。</p> <p>ウ) 地域や各種団体によるボランティア活動への参加を推進する。</p>	<p>(結果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部顧問が積極的に学習指導に関わり、部活動と勉強の両立に向けて生徒の意識にも変化が見られ改善が図られた。 ・部活動生集会やキャプテン会を開催し、部活動の活性化のみならず、文武両道の在り方についても具体的な指導を行うことができた。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動生が学校行事のみならず日頃の学級活動や学習面等でも牽引していく行動力・実践力を育てていく必要がある。 <p>(結果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の姿を見直すというフォームカードが定着するとともに、男女別集会を開催し生徒への意識付けを図ることができた。 ・生徒会を中心に各種学校行事において生徒が主体的に活動できた。 ・多くの生徒が積極的にボランティア活動に参加し、多くのことを学ぶことができた。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常識のある行動、品位のある行動をさらに身に付けさせ、集会時マナー、交通マナーの確立を図 	3	3	<p>①学校行事や部活動等において、生徒自身が主体的に判断して行動できるよう事前指導や仕掛けを充実させる。</p> <p>②学習に対する姿勢や時間管理などハイレベルな文武両道を目指して粘り強い指導を継続させていく。</p> <p>③集会時マナー、交通マナーについて、生徒会主導の指導を検討していきたい。</p>	3	<p>・選挙権の問題も含めて南高校ならではの政治教育の研究を進めてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役員だけでなく一般保護者への意識の拡大も必要だと思われます。 ・生徒の活動は充実しており、豊かでたくましい人間性が培われていると思います。これも先生方の熱心で毅然とした対応の結果だと思っています。 ・積極的な広報活動は本当に素晴らしいと思います。今後も継続してください。 ・中学校との連携を積極的に模索されてはどうでしょうか。 ・学校ではよくあいさつしてくれますが、通学時に暗い生徒が多い気がし

		る必要がある。						
	③人間力の醸成 7) 「朝の読書」の更なる充実を図り、幅のある人材を育成する。 イ) 主体的な清掃活動を促し、学校美化のみならず、社会貢献への意識を身に付けさせる。 ウ) 人権教育を計画的に実施するとともに推進体制の充実を図る。 エ) ピア・サポート等を実施することで、生徒のコミュニケーション力の向上を図るとともに、教育相談等を充実する。 オ) 定期的なアンケートを実施することで、いじめ等の早期発見に努めるとともに、根絶を図る。	(結果) ・朝の読書やブックトークを契機に図書館利用者が増加し、貸し出し図書数も増えた。 ・人権啓発週間では、各部の作品等の展示や昼休み時間を利用して吹奏楽の演奏など啓発活動が充実した。 ・地域の方々を招いての防災訓練及び講話を実施することができた。 ・LHRや各種委員会でのピアサポートトレーニングの継続的实施により生徒間の人間界作りの支援ができた。 (課題) ・アンケート等を通して実態把握をするとともにいじめ抑止に向けた具体的な取組を職員と共有する必要がある。	4		①「朝の読書」や日頃の読書活動について、さらなる充実を図っていく。 ②人権教育の計画的な指導を図るとともに、ピア・サポートを充実させ人間関係の醸成に努める。 ③生徒間のよりよい人間関係づくりのため、ピアサポートを活用するとともに、迅速な実態把握に努める。	4	ます。 ・自治会へ「南高通信」を発行されている取組はとても素晴らしいと思います。配付する自治会のエリアをもう少し広げてもらえませんか？また、塾や中学校にも郵送で送るのはいかがでしょうか。これまで学校だけで行ってきた中学校や塾に対するPR活動を、保護者や同窓生のネットワークを活用することで、さらに効果的になるのではないかと思います。宮崎南応援隊(仮称)のようなPR活動をしていただける組織を立ち上げてははいかがでしょうか。 ・新設の木村拓也賞を受賞した女子バレーボール部のキャプテンの推薦理由に部活動のみならず、部内の学習会も主導した旨がありました。そこに象徴されるように部活と学習を敵対させるのではなく共存させる雰囲気があると思います。生徒の主体性を大切にするムードが学校行事全般に見られます。自己教育力が一番の教育力だと思います。育成を追求してください。 ・学校の教育力が成果を発揮するときは、学校、PTA、同窓会等の関係機関のベクトルが方向性において一致することがそれぞれの力量以前に重要なことです。その点本校はほころびもなく完全に一致しています。ますますの力量発揮が期待されます。	
4 保護者・地域との連携推進 * 渉外部 * 事務部 * 情報教育部 * 教務部 * 進路指導部	①広報活動の充実・中高連携の推進 7) 学級通信や学年通信、学校HPを充実させ、幅広い広報を行う。 イ) オープンスクールや中学校訪問の充実を図る。 ウ) 広報活動に努め、地域に根ざし、応援される学校を目指す。	(結果) ・フロンティア科独自のパンフレットを作成し、生徒募集や特色理解に貢献できた。 ・「南高通信」を地域の自治会に向けて定期的に発行したり、部活動で地域の活動へ参加したりするなど広報活動が充実した。 ・学年通信や進路便り(くすのき通信)の定期的な発行、学校HPの迅速な更新により情報提供等ができた。 (課題) ・中学校訪問等の回数を増やしたり、多くの職員が関わったり、また保護者との連携や協力を図ったりするなどして、本校教育活動への理解や啓発をさらに進めていく必要がある。	4	4	①フロンティア科独自のパンフレットを作成し、中学校や学習塾を回るなど、広報に努めた結果、志願者が増加したが、今後もさらに推進する。 ②「南高通信」「学年通信」や学校HPの充実については継続して行う。 ③部活動での地域の活動への参加を進めてきたが、今後はボランティア活動や防災活動等への協力も検討していきたい。	4	①PTAや同窓会とさらなる連携をはかり、学校行事等への支援・協力を依頼していく。	
	②PTA活動の充実・同窓会との連携 7) 講演会や「鵬合格うどん」等において、PTAと教職員が密に連携し、企画・運営を行う。 イ) 「鵬ドリカム講座」やインターンシップについて、同窓会と連携し充実を図る。	(結果) ・本校PTA新聞「鵬」が第16回宮日PTA新聞コンクール最優秀賞に選ばれた。 ・第4回「鵬合格うどん」では、多くの保護者が参加・協力するとともにテレビや新聞の取材を受けるなど充実した活動となった。 ・同窓会の熱心な協力により鵬ドリカム講座やインターンシップを実施することができた。 (課題) ・今後もPTAや同窓会との更なる連携をはかり、生徒のためになる活動を広げる必要である。	4	4				
5 学習環境の整備・充実 * 事務部	①学習環境の整備・充実 7) 学校の実態を把握した上で、施設整備の整備計画を策定し、安全・安心で学べる環境作りを目指す。	(結果) ・駐輪場・武道館・プールの通路の防犯用照明器具の設置 ・特別理科棟廊下(2Fから3F)の転落防止用手すりの設置 ・弓道場の昇降式防矢ネットの設置			①予算の適切な執行により、かなりの部分で改善が進んだが、今後もプールなど、整備が進んでいない部分について、改善されるよう計画を立てていきたい。		・電話での対応、事務室での対応等いつもさわやかでとても気持ちよく学校に何うことができました。学校の玄関口として今後も事務室一体となり	

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育館外（南北）に生徒用スリッパ専用靴箱の設置 ・ 育鵬館入口に障がい車用スロープの設置 ・ 武道場に車イス用段差解消機の設置 ・ 職員休憩室内装の改修（壁・天井・畳） ・ 体育館及び特別理科棟（1F）にAEDを設置 ・ テニスコートの防塵用ネットの設置 ・ 管理棟（3F教室）のアルミ引き違い戸に改修（課題） ・ プール本体及び周辺設備の整備が急務であるが、予算的な問題で先送りとなっている。 	4	4		4	4	<p>生徒、先生、保護者をサポートしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 限られた予算の中で、効果的に改修に取り組まれていると思います。後はプール改修をよろしくお願いたします。 ・ 学習環境の充実は事務長の努力によりきめ細かく実施されています。長期的展望のもと、なおかつタイムリーな施設改善をお願いします。
--	--	--	---	---	--	---	---	--

(注) 4段階評価・・・ 4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する